

はなふくひさ
「**華福久**」を県基幹種雄牛に選抜

—頼れる次世代エース誕生！新しい基幹種雄牛に期待—

しげふくひさ
「**茂福久**」に続く高い脂肪交雑10.4を記録した「**華福久**」が県基幹種雄牛に選抜されましたのでお知らせします。

1 プロフィール

「**華福久**」

生年月日 令和2年5月1日
父 茂福久
母 ふゆこ
母の父 はなはるふく 華春福
母の母の父 ふくはないち 福華1
生産地 遠田郡涌谷町
飼養場所 宮城県畜産試験場



2 概要

- 「**華福久**」は、霜降り度合の基準である脂肪交雑の数値がとて高く、県のエース種雄牛である「**茂福久**」（平成30年選抜）に次ぐ、10.4を記録し、より良い霜降り肉をつくるための改良に役立つと期待されています。また、枝肉重量（肉の量）が優れています。
- 「**華福久**」を肉用牛改良に活用することで、宮城県産子牛の評価向上及び銘柄牛肉「**仙台牛**」のブランド強化の弾みとなります。
- 「**華福久**」の家畜人工授精用精液は、7月から注文を受け付け、8月から配布する予定です。

3 現場後代検定成績

	検定頭数	出荷月齢	枝肉重量(1) (kg)	ロース芯面積(2) (cm ²)	ばらの厚さ(3) (cm)	脂肪交雑(4) (BMS No.)
華福久	25	29.4	531.0	76.6	9.4	10.4
全国平均(5)	256,321	-	494.1	68.6	8.3	8.6

(1)から(4)全て 数値が大きい方が良い。(4)サシや霜降りの指標であり、1から12までの12段階で評価される。

(5)令和5年度の広域後代検定の成績。

4 取材にあたっての注意事項

家畜防疫上、畜産試験場内への立ち入りはできません。取材は畜産課で対応いたします。